V　参考資料

1　基本計画における指標と根拠

【基本目標１】　　新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2015 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
25 歳～39 歳人口の「未婚」の割合	38.3%	35.0%	国勢調査

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
家庭を築くことについて理解を深める機会をつくります	乳幼児とのふれあい体験の実施回数（年間）	―	3 回	健康長寿課
出会いの場や交流できる機会を増やします	結婚推進関連事業への参加者数(年間)	150 人	200 人	結婚推進支援事業で実施した婚活イベントへの参加人数（企画財政課）
結婚する若者や子育て世代の新生活を応援します	高畠町若者定住促進事業による支援件数(累計)	74 件	120 件	建設課

【基本目標２】　　安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2016 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
合計特殊出生率	1.48	1.48	保健福祉統計年報（人口動態統計編 ）

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
子どもを産み育てたい人を応援します	子育て世代を受入できる地域の居場所の数	2 か所	6 か所	健康長寿課
	妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮をされたと思う就労妊婦の割合	83.3%	95.0%	母子保健に関する実施状況等調査（４か月健診問診必須項目）
	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	84.5%	90.0%	母子保健等に関する実施状況等調査（４か月健診問診必須項目）

妊娠から子育てまで、切れ目のない支援を行います	産後、退院してからの１か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができたと回答した者の割合	90.4%	95.0%	母子保健等に関する実施状況等調査（４か月健診問診必須項目）

【基本目標３】　子どもが健康にすくすく育つ環境を整える

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	96.8%	98.0%	母子保健に関する実施状況等調査（4 ヵ月・1.6 歳児・3.6 歳児検診必須問診項目）

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
地域全体で子どもがのびのび育つ環境をつくります	子育てボランティア登録数	0 人	20 人	福祉こども課
	学びと交流の場の数	1 か所	2 か所	学びと交流の場支援事業(福祉こども課)
子どもの健康を守る取り組みを行います	３歳で虫歯のない幼児の割合	77.1%	80.0%	3.6 歳児健診時調査（健康長寿課）
	低出生体重児の割合	11.2%（2016 年度）	減少	健康長寿課
子どもの発達過程や特性に応じた支援を行います	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合（国と同率の目標値）	89.0%	95.0%	4 か月、1.6 歳、3.6 歳児健診時調査（健康長寿課）

【基本目標４】　子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
子育て支援施策に満足している人の割合	39.5%	45.0%	行政運営基礎調査（満足度）

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
ゆとりある子育てができるよう、仕事と子育ての両立を支援します	病児保育施設との連携強化数	2 か所	3 か所	福祉こども課

	放課後児童クラブの定員数	305 人	372 人	福祉こども課
	３歳未満児の待機児童数	0 人	0 人	福祉こども課
	積極的に育児に参加している父親の割合	56.5%	70.0%	4 か月、1.6 歳、3.6 歳児健診時調査（健康長寿課）
子育て世代の経済的負担を軽減します	資格取得等の支援による就労人数（累計）	1 人	5 人	ひとり親家庭生活応援給付金受給世帯（福祉こども課）
	子育てについて困る町のひとり親の割合（10%減を目指す）	45.6%（2016 年度）	35.6%	高畠町ひとり親家庭実態調査（福祉こども課）

【基本目標５】　課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
障がい児に関わる人のネットワーク数	―	1	福祉こども課

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
地域で安心して暮らせる保育･教育･医療体制を整えます	医療的ケア児に関する協議の場の設置	―	設置	障がい児福祉計画（福祉こども課）
親同士が悩みを共有できる交流の場を作ります	交流の場の開催回数（累計）	―	5 回	福祉こども課

【基本目標６】　子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2018 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
難しいことも失敗を恐れないで挑戦する子どもの割合	84.7%	85.0%	山形県学力等調査（高畠町内小中学校平均）

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2018 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
人生を自ら切り開き、豊かにする力を育みます	自ら課題を解決しようとする子どもの割合	66.05%	69.0%	山形県学力等調査（高畠町内小中学校平均）

他者を思いやる心を育てます	自己を肯定できる子どもの割合	80.9%	82.0%	山形県学力等調査（高畠町内小中学校平均）
生まれ育った町を愛する心を育てます	地域や社会をよくしたいと考える子どもの割合	52.85%	57.0%	山形県学力等調査（高畠町内小中学校平均）
安心して学べる教育環境を整えます	学校への地域人材の参加人数（年間）	1,066 人	増加	社会教育課
	大規模改修対象校（４校）の改修進捗率	―	25.0%	公共施設等管理計画（教育総務課）

【基本目標７】　学ぶ気持ちを大切にし、地域の教育力をアップさせる

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
生涯学習の推進施策に対する満足度	31.6%	増加	行政運営基礎調査（満足度）

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
誰もが学びたくなる環境をつくります	生涯学習講座への参加人数（年間）	14,000 人	維持	社会教育課
	図書館の利用者数（年間）	16,100 人	21,000 人	社会教育課
	出前講座・町民講座の利用者数（年間）	2,500 人	維持	社会教育課
地域のつながりによる学びの場を広げます	地域における学びの場の数	127 か所（2018 年度）	増加	社会教育課
学んだことを生かし、人を育てる仕組みをつくります	地域の先生登録者数（地域人材バンク）	―	100 人	社会教育課

【基本目標８】　「ちがい」を認めることができる人を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
「障がいがあることで差別や嫌な思いをすることがない」人の割合	61.2%	70%	障がい者プランアンケート

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値 (2017 年度)	目標値 (2023 年度)	根拠
一人ひとりを大切にし、お互いを尊重する心を育てます	児童生徒に対する人権教育・福祉教育の実施回数	7 回	12 回	福祉こども課 生活環境課
相談者の心に寄り添った相談、支援を行います	支援者の資質向上のための研修実施回数（年間）	12 回	維持	民生委員・児童委員、老人福祉相談員、人権擁護委員、教育相談員の年間研修回数

【基本目標９】　若者があこがれる「かっこいい」産業を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2016 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
市町村内総生産額 （年 1%増を目指す）	67,665 百万円	71,117 百万円	山形県「市町村民経済計算」（商工観光課）

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値 (2017 年度)	目標値 (2023 年度)	根拠
「かっこいい」「もうかる」農業づくりを支援します	農業算出額	78.7 億円 (2016 年)	82 億円 (2021 年)	農林水産省公表による市町村別農業産出額(推計)
	若者の就農者数	5 人	維持	農林振興課
	町公式 You Tube チャンネル農業番組制作本数（累計）	1 本	20 本	農林振興課
商工業の維持・発展のための支援をします	製造品出荷額 （年 4%増を目指す）	5,789,941 万円 （2016 年 度）	7,044,349 万円	工業統計調査 （商工観光課）
	商業年間商品販売額 （年 1%増を目指す）	2,731,634 万円 （2016 年 度）	2,869,855 万円	商業統計・経済センサス（商工観光課）

【基本目標 10】　資源や人のつながりで、地域産業をもりあげる

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2016 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
高畠町全産業付加価値額 （年 3.2%増を目指す）	31,171 百万円	36,350 百万円	経済センサス （商工観光課）

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値 (2018 年度)	目標値 (2023 年度)	根拠
多様な連携による「もの･こと」づくりを推進します	製造業付加価値額 （年４％増を目指す）	22,100 百万円 (2016 年度)	26,888 百万円	工業統計調査 （商工観光課）
町内資源のフル活用による産業発展を支援します	農商工観連携事業の支援数	―	10 事業	商工観光課 農林振興課
	町外企業との連携事業数	2 事業	7 事業	商工観光課
	町内農畜産物の新規需要取引数	―	5	農林振興課
	地産地消取り組み事業数	28 事業	33 事業	農林振興課
	たかはたブランド認証数	30 商品	40 商品	商工観光課

【基本目標 11】　一人ひとりの生活に合った多様な働き方の選択肢を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2015 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
町内就業者数	12,775 人	現状維持	国勢調査 （町内就労者数） （商工観光課）

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値 (2018 年度)	目標値 (2023 年度)	根拠
多様な働き方ができるよう支援を行います	情報提供手段の増加	1 ツール	4 ツール	商工観光課
やりがいのある仕事と出会う機会をつくります	新規高等学校卒業求職者の県内への就職率	74.6% (H30.3 卒業者実績)	80.2% （定住自立圏構想設定値と同数）	商工観光課
	職業体験・企業説明会に参加した小中高校生の人数（年間）	200 名 （2018 年度）	280 名	商工観光課

【基本目標 12】　新しいビジネスを創出しやすい環境を整える

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2018 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
新たに創業・起業した個人・企業数（累計）	8 件	18 件	商工観光課

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2018 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
創業・起業に役立つ情報を提供します	創業セミナーの受講者数（年間）	15 人	15 人	商工観光課
創業・起業を支援します創業・起業を支援します	町の支援により創業・起業した者（社）の数	8 件	18 件	商工観光課

【基本目標 13】　自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2018 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
高畠町が住みやすい理由として「豊かな自然環境に恵まれている」と答えた人の割合	30.7%	40.0%	幸せな未来づくりアンケート

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
自然の恵みを生かした暮らしを広げます	自然体験教室・自然体験イベントなどの実施回数（年間）	31 回	維持	農林振興課 生活環境課 社会教育課
自然に親しみながら、のんびり、ゆったり暮らしたい人を応援します	田舎暮らし体験者数（累計）	―	10 人	企画財政課

【基本目標 14】　安心して快適に生活できる環境を整える

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2018 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
高畠町が住みやすいと感じる町民	73.6%	増加	幸せな未来づくりアンケート

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2018 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
安心な暮らしを支える公共インフラの整備を進めます	橋梁の老朽化対策実施数	5 橋	18 橋	建設課
	都市公園のリニューアル事業（遊具施設）実施数	1 公園	3 公園	建設課

	歩道整備総延長	44.245km	45.245km	建設課
	水道管路の耐震化率	20%	23%	上下水道課
ずっと住み続けたくなる住環境づくりを推進します	高畠町住宅リフォーム支援事業による支援件数（年間）	48 件	50 件	建設課
	空き家利活用件数（年間）	－	10 件	生活環境課 町内外含めた空き家の利活用全権件数
冬期間の安全な生活環境づくりを行います	道路除排雪担い手確保件数	0　件（2017 年度）	5　件	建設課
	除排雪活動に継続して取り組む集落数（累計）	14 集落（2017 年度）	29 集落	福祉こども課

【基本目標 15】　みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
手助けが必要な人がいたら近所の人とできる範囲で手助けすると答えた人の割合	36.3%	増加	地域福祉計画策定に係るニーズ調査（福祉こども課）

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2018 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
地域ぐるみで災害に対応できる力を高めます	福祉防災マップ作成集落数	39 集落（2017 年度）	54 集落	福祉こども課
	自主防災組織率	81.1 %（99 集落）	100%（122 集落）	総務課
	消防団員数	764 人	785 人	総務課
地域での犯罪や事故を未然に防ぎます	運転免許証自主返納者数（年間）	63 人（2018 年）	80 人	生活環境課
	犯罪認知件数（年間）	53 件（2018 年）	45 件	生活環境課
	交通事故（人身）の発生件数（年間）	93 件（2018 年）	85 件	生活環境課

【基本目標 16】　生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2016 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
ふだん健康だと思う人の割合	82.5%	90.0%	高畠町健康増進計画 げんき高畠 21

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値 (2018 年度)	目標値 (2023 年度)	根拠
地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	日頃から運動している人の割合	23.86%	30.0%	健康長寿課
	喫煙者の割合	24.5%	12%以下	健康長寿課
	健康に関心のある人の割合	36.6%	50.0%	健康長寿課
	地域活動に参加している人の割合	26.9%	30.0%	健康長寿課
こころの健康づくりを進めます	自殺死亡率（人口 10 万対）	18.7 (2013 年度～2017 年度の平均)	13.1 以下 (2019 年度～2023 年度の平均)	自殺対策基本計画（福祉こども課）
安心して利用できる医療サービスを提供します	後期高齢者医療の訪問診療利用者延べ人数(年間)	3,804 人	増加	町民課

【基本目標 17】　地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
住民同士のつながり支え合いを「いつも感じる」人の割合	26.3%	増加	地域福祉計画策定に係るニーズ調査(福祉こども課)

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値 (2017 年度)	目標値 (2023 年度)	根拠
持続可能な地域のありかたを考える機会をつくります	集落座談会を開催した集落数（累計）	40 集落	55 集落	福祉こども課

得意なことを生かしたボランティア活動を広げます	ボランティアセンター登録者数	1,751 人	1,850 人	福祉こども課
誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくりを支援します	地域の居場所の数	6 ヶ所	9 ヶ所	福祉こども課

【基本目標 18】　生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
生きがいのある高齢者の割合	69.8%	75%	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
豊富な経験や技能を活用した生きがいづくりと社会参加を進めます	地域の茶の間の開設数	４か所	６か所	健康長寿課
人生を元気に過ごせるよう介護予防を強化します	住民主体の介護予防の場	24 か所	35 か所	健康長寿課

【基本目標 19】　住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる環境を整える

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
人生最期のときを自宅で迎えたい人の割合	66.2%	70%	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
高齢者の日常生活を支えるしくみをつくります	集落のサロン数	34 か所	50 か所	健康長寿課
	買い物、通院、除雪支援を行う住民主体の団体	1 団体	6 団体	健康長寿課
医療や介護が必要になっても住み慣れた地域	在宅療養(看取り)の普及啓発事業開催回数（年間）	2 回	2 回	健康長寿課

で暮らせる体制をつくります	認知症サポーター数（累計）	2,303 人	3,000 人	健康長寿課
	見守りネットワーク協力機関数	65 か所	70 か所	健康長寿課
介護者の負担を減らします	介護者研修会（交流会）参加者数（年間）	47 人	60 人	健康長寿課
	認知症カフェの利用者数（年間）	347 人	400 人	健康長寿課

【基本目標 20】　地域の自然や生態系を守る活動を広げる

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2018 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
高畠町が住みやすい理由として「豊かな自然環境に恵まれている」と答えた人の割合（再掲）	30.7%	40%	幸せな未来づくりアンケート

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
自然を大切にするこころを育みます	食農教育の実践学校数	7 校	維持	教育総務課
	自然体験教室・自然体験イベントなどの実施回数（年間）再掲	31 回	維持	農林振興課 生活環境課 社会教育課
豊かな自然を守り、次世代に継承します	有機・特別栽培水田面積	712ha	維持	農林振興課
	耕作放棄地面積	141ha	130ha	農業委員会
	屋代川のＢＯＤ値の値	1.2 ㎎/L	2 ㎎/L 以下	山形県「大気・水環境等の状況」（生活環境課）

【基本目標 21】　持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2015 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
温室効果ガス排出量	172,000t-CO_2	170,000 t-CO_2	生活環境課

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2018 年度）	目標値（2023 年度）	根拠

環境にやさしいライフスタイルを定着させます	COOL CHOICE 賛同者・企業数（累計）	954 人・40 団体	1,100 人・60 団体	生活環境課
効果的・効率的なエネルギー対策に取り組みます	公共施設の温室効果ガス排出量（年間）	5,779t-CO_2（2013 年度）	5,258t-CO_2	生活環境課
	再生可能エネルギー導入容量（固定価格買取制度適用分）	8,694ｋｗ	9,200ｋｗ	生活環境課
循環型社会の形成を進めます	最終処分廃棄物量	766ｔ/年（2017 年）	700ｔ/年	生活環境課

【基本目標 22】　歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
町内の文化遺産保護・活用団体に参加している人の割合	3%	5%	社会教育課

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
歴史や文化遺産を正しく理解し、大切に守ります	歴史文化学習会の開催数（年間）	42 回	45 回	社会教育課
文化遺産を活用し、潤いのある暮らしをつくります	文化遺産の活用事業数	2 事業	5 事業	社会教育課

【基本目標 23】　夢や志を持ち活躍する若者を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2018 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
高畠町が好きと回答した 14 歳から 29 歳までの町民の割合	74.1%	79.1%	幸せな未来づくりアンケート

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2018 年度）	目標値（2023 年度）	根拠

若者がまちや地域を知るための機会を提供します	40 歳未満の若者を対象とした町・地区事業の実施回数（年間）	94 回	増加	社会教育課
	中高生や若者によるまちづくり企画の支援回数（累計）	―	40 回	企画財政課 社会教育課 商工観光課
夢や志を持つ若者を応援します	若者活動団体による若門を対象とした事業・活動の実施回数及び参加者数（年間）	14 回・ 520 人	増加	社会教育課
	若者の夢や志を支援するプロジェクト事業実施回数	―	5 事業	企画財政課 社会教育課 商工観光課

【基本目標 24】　協働でまちづくりを進めるための環境を整える

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2018 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
地域活動やまちづくり活動に参加している人の割合	41.1%	45%	幸せな未来づくりアンケート

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値 (2018 年度)	目標値 (2023 年度)	根拠
町民が参加・参画しやすい協働のしくみをつくります	町民とのまちづくりﾜｰｸｼｮｯﾌﾟや人材育成事業の実施回数（累計）	27 回	100 回	事業実施課の事業実施回数の合計
将来を見据えた行財政運営と職員育成を進めます	財政力指数	0.387%	0.387%	企画財政課
	派遣研修受講職員の延べ人数	110 人	120 人	総務課

【基本目標 25】　町内外に町の魅力を効果的に発信する

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
地域ブランド調査の魅力度ランキング順位（1,000 市区町村中）	993 位	2017 年度に 比較してアップ	ブランド総合研究所による地域ブランド調査

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値 (2018 年度)	目標値 (2023 年度)	根拠

高畠町といったらこれという町の魅力を再発見します	ふるさと名物応援宣言による地域ブランド商品サービスの開発件数	―	5 件	商工観光課
戦略的なプロモーションを行います	首都圏プロモーションの実施回数	5 回	10 回	商工観光課

【基本目標 26】　高畠町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
年間観光客数（年間）	130 万人	現状維持	商工観光課

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
観光者の滞在時間を増やす新たな観光プログラムをつくります	町内宿泊者数（年間）	29,372 人	34,372 人	商工観光課
	外国人宿泊者数（年間）	484 人	5,000 人	商工観光課
高畠町ならではの観光情報の発信を強化します	町公式ホームページ観光サイトの閲覧数	―	10,000 回	企画財政課
	町の魅力発信ワークショップ参加者数	―	120 名	商工観光課
	町公式 YouTube チャンネル再生回数	17,761	100,000 回	企画財政課

【基本目標 27】　交流力を高め、高畠町を応援する人や地域を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2018 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
「交流」に関する協定の締結数（災害協定を除く）	4 件	8 件	企画財政課

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
さまざまな場所から人	町内農業体験者数（年間）	513 人	700 人	農林振興課

が訪れ、高畠町を体感できる機会を増やします	熱中小学校プロジェクトによる交流人口（年間）	2,281 人	2,500 人	企画財政課
継続して高畠町と関わりを持つ団体･企業･地域を増やします	県外の企業・自治体・大学等と協働で 3 年間以上継続して行っている事業の数（累計）	6 件	10 件	企画財政課
町外にいても高畠町を応援してもらえるしくみをつくります	都市部で主催する交流事業の参加者数（年間）	50 人（2018 年度）	100 人	企画財政課
	ふるさと納税の申込延べ件数（年間）	1,509 件	2,500 件	企画財政課

【基本目標 28】　移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす

≪成果目標(KGI)≫

指標名	現状値（2017 年度）	目標値(2023 年度)	根拠
人口の社会的増減率	△0.49%	△0.4%	企画財政課

≪施策と評価指標(KPI)≫

施策	評価指標(KPI)	現状値（2017 年度）	目標値（2023 年度）	根拠
高畠町に住みたくなるきっかけをつくります	移住相談（問合せ）件数（年間）	5 件	100 件	関係課
高畠町に移り住む人を応援します	空き家バンク成約数（町外の方の累計）	1 件（2018 年）	５０件	生活環境課（建設課）
移住した人たちが永く住み続けられるようサポートします	移住者支援事業の開催回数（年間）	０件（2018 年）	３件	企画財政課

2　幸せな未来づくりアンケート結果

第６次総合計画の策定にあたり、町民のみなさんの現状や意向・意見や、高畠町の将来を担う若い世代のみなさんが、日頃どのように町を見て、まちづくりにどのような考えを持っているかを把握し、反映させ、よりよい総合計画の策定につなげることを目的にアンケート調査を実施しました。

（１）調査対象者と回収率

①高畠町に在住する 18 歳以上（H12.4.1 以前生まれ）の町民 2,000 名
※ 回収数 767 票（有効回収率 38.4%）
②高畠町に在住する 15 歳から 18 歳（H12.4.2 以降生まれ）の高校生世代 200 名及び高畠中学校３年生 220 名（計 420 名）
※ 回収数 268 票（有効回収率 63.8%）

（２）調査方法

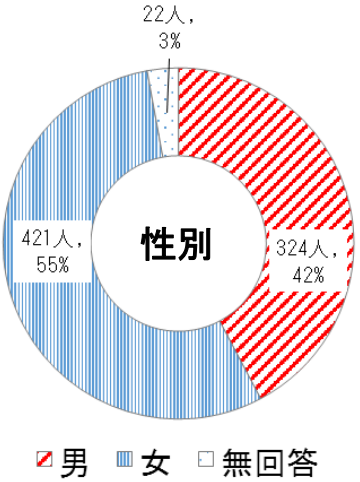
① 配布　郵送
② 回収　郵送またはインターネットによるパソコン・スマートフォンからの回答
※ 中学生は、高畠中学校を通じて配布・回収

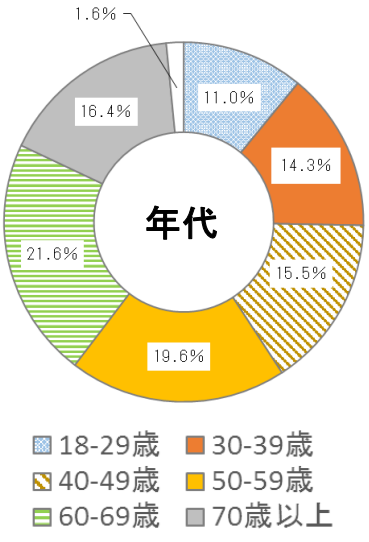
（３）調査期間

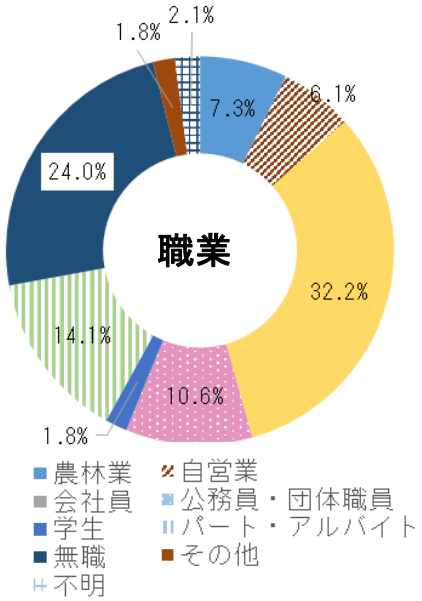
平成３０年６月１３日～６月２９日

1　調査結果概要（１８歳以上）

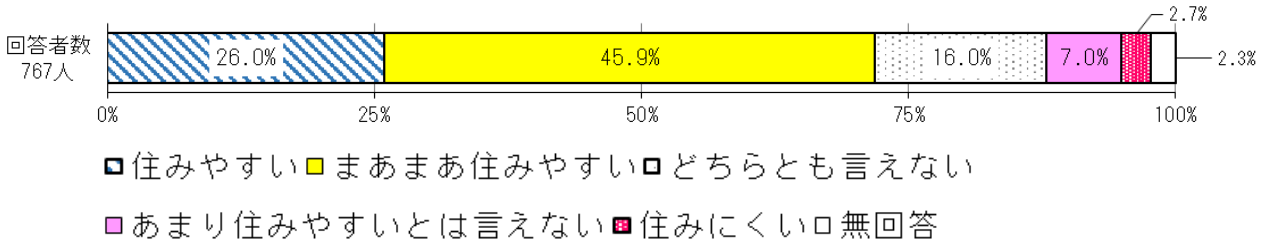
回答者の属性



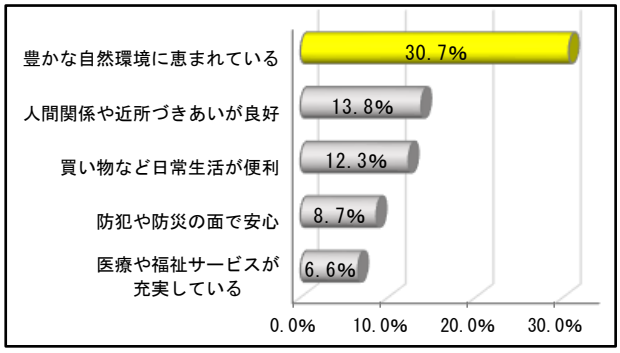




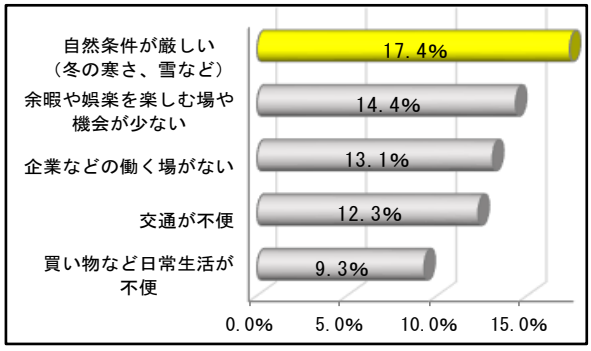
問：高畠町は住みやすい町ですか。



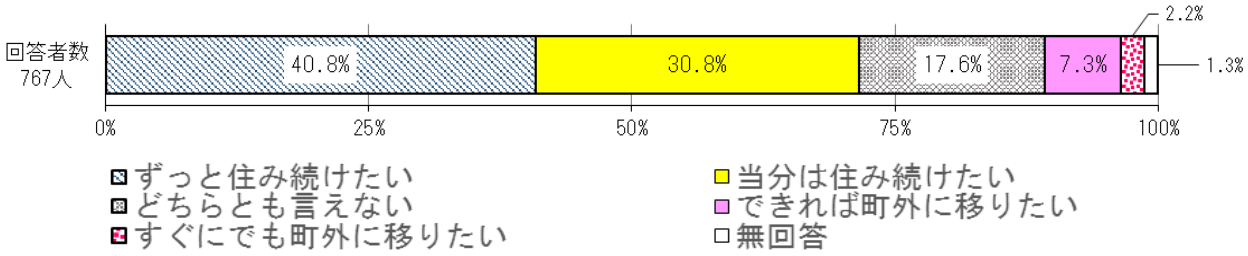
住みやすいと感じる理由　トップ５



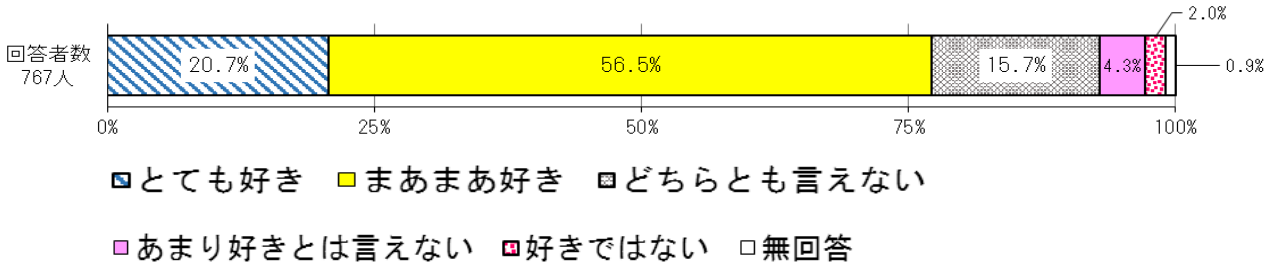
住みにくいと感じる理由　トップ５



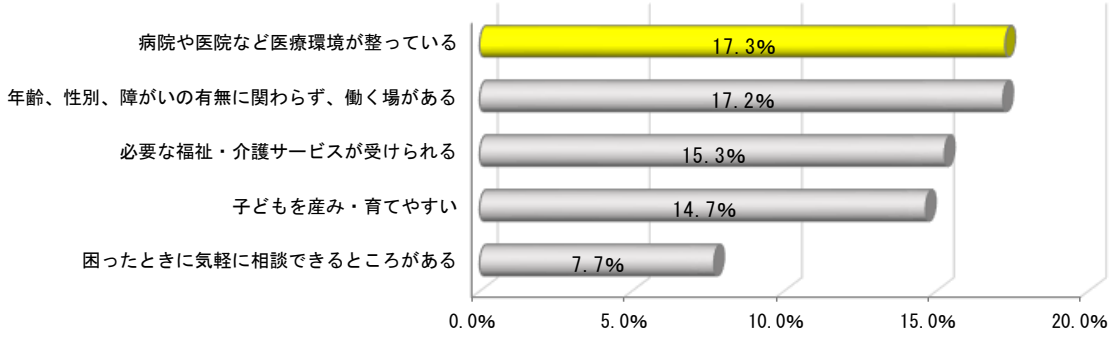
問：高畠町に住み続けたいです



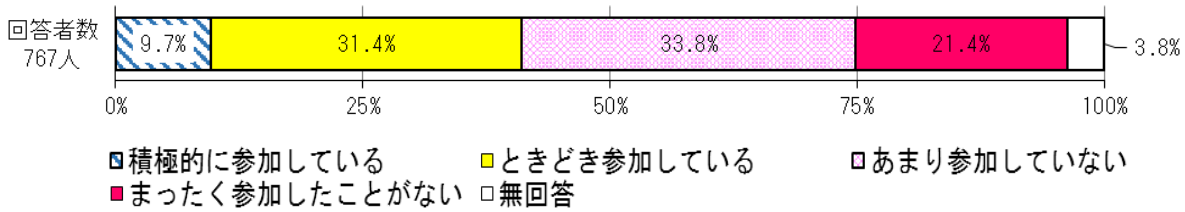
問：高畠町は好きですか。



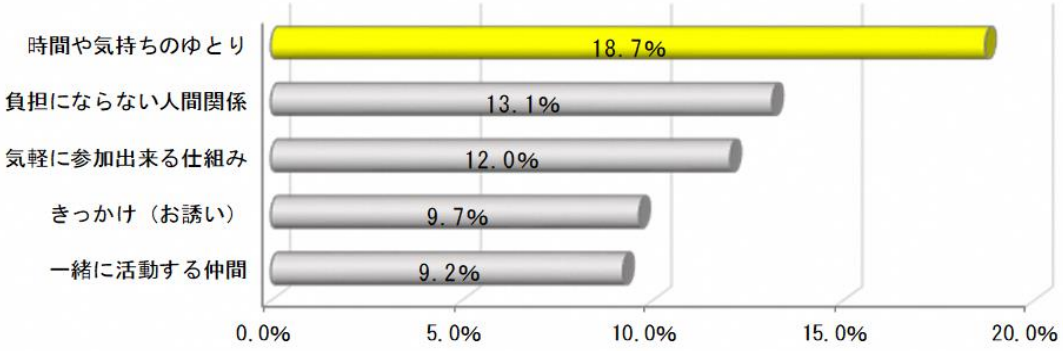
問：安心して暮らせるまちをつくるために特に必要なことは何ですか。



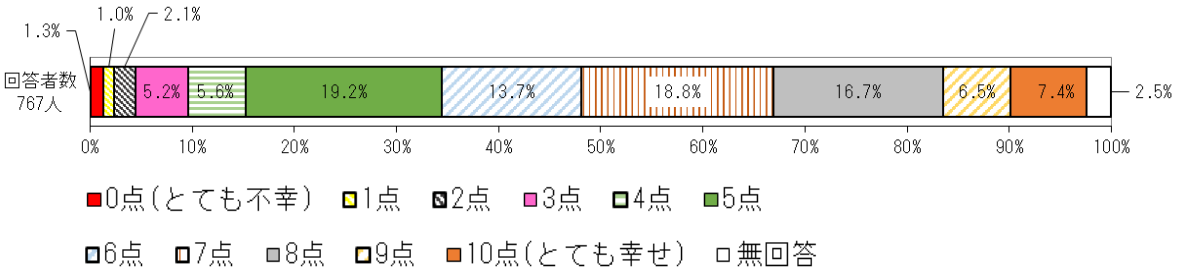
問：地域活動やまちづくり活動に参加していますか。



問：地域活動やまちづくり活動に参加するには何が必要ですか。

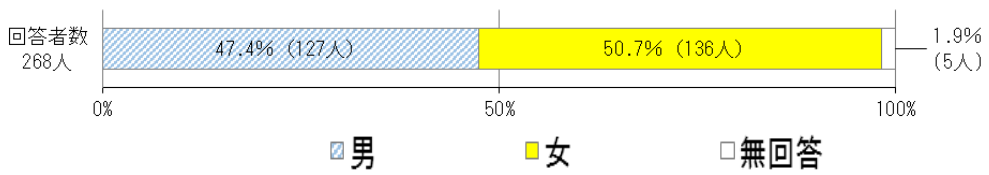


問：現在、あなたはどの程度幸せだと思いますか。

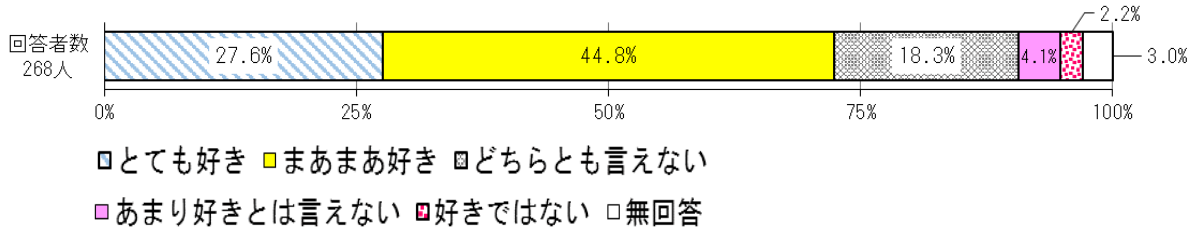


2 調査結果概要（中高生世代）

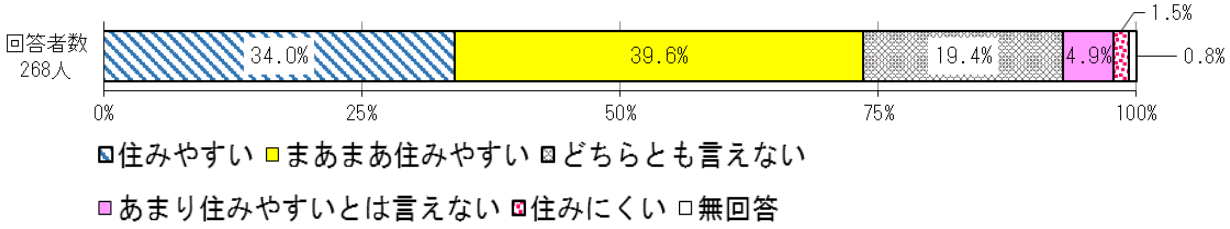
性別



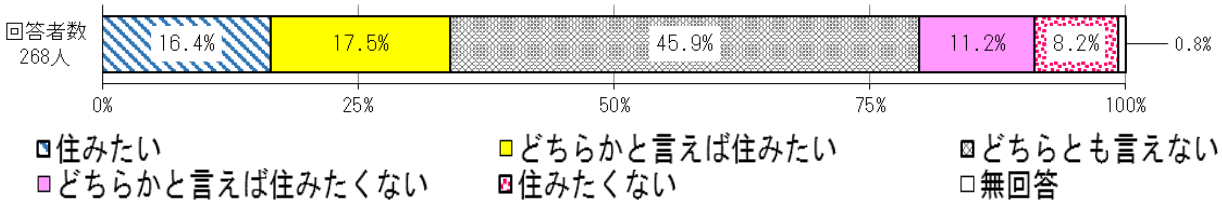
問：高畠町は好きですか。



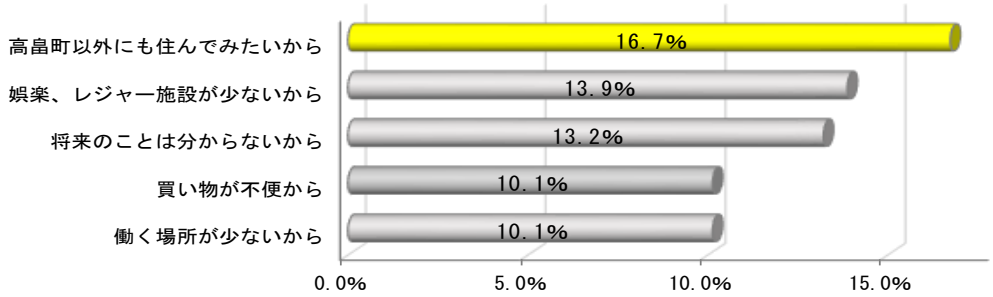
問：高畠町は住みやすい町ですか。



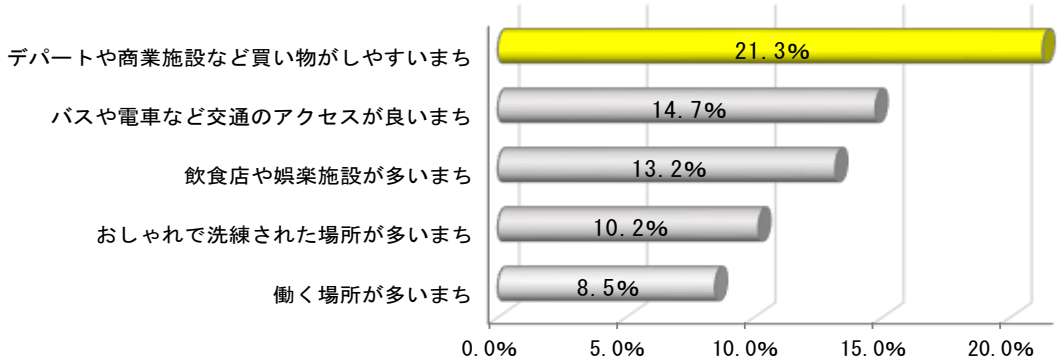
問：大人になってからも高畠町に住み続けたいですか。



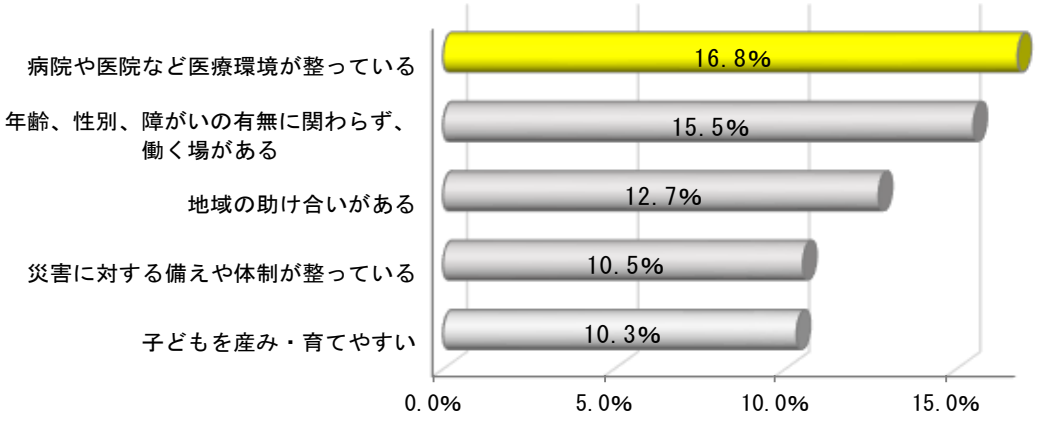
住みたくない理由　トップ５



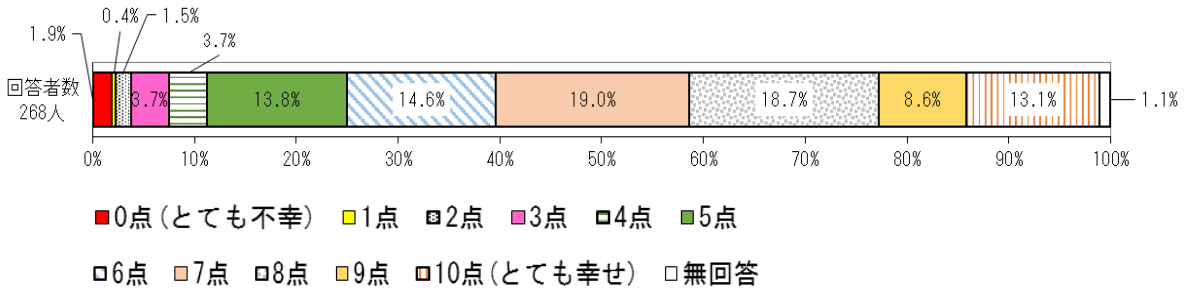
問：どのような「まち」であれば、若い人が住みたいと思えると考えますか。



問：安心して暮らせるまちをつくるために特に必要なことは何です



問：現在、あなたはどの程度幸せだと思います



３　高畠町のまちの声

会社員、自営業、商店や農家の後継者、子育て中の方、Ｉターン・Ｕターンの方、地域づくり活動を行う方、中高生など、子どもから大人まで、興味の範囲も考え方も違う多くの方が高畠町で暮らしています。

高畠町に暮らす一人ひとりの声をお聞きし、高畠町の未来の方向性を探るため、ヒアリングやワークショップなどの機会を多く持ちました。

以下は、町民ヒアリングや町民アンケートの自由回答、未来まちづくりカフェ（町民ワークショップ）、まちづくりトーク等で寄せられた、町民皆さんの声です。

【自然・歴史】
・高畠の魅力は、人がいいところ、空気がいいところ、水がいいところ。
・四季が綺麗。春夏秋冬が感じられる。
・景色がいい。空気が美味しい。
・自然に守られている。災害が少なく安心して生活できる。
・若者を中心に、神社、仏閣への関心が低くなっている。

【安全・安心】
・障がい者の災害時の支援体制が整備されている。
・治安がいい。安心して暮らせる。
・現状維持されており、社会問題がないような町であってほしい。
・障がい者、高齢者が安心安全に生活できるようにしてほしい（歩行者道路の段差整備）

【健康・医療】
・高畠病院は近いことと、いろいろ配慮していただけるのがありがたい。
・高畠は公立病院はあるが産科がない。

【福祉・介護】
・介護とか（特に在宅）病院の付き添いとか、家族の負担が大きい。金銭面も、時間的にも心配で仕事などしづらい。もっとそういうサービスを受けやすいようになるといい。
・介護保険などの制度という枠組みでなく、助け合い活動を続けていきたい。

【高齢者】
・高畠の高齢者は何でも自分でやる、という気持ちの強い人が多いと感じる。反面、考えが固いかもしれない。

【子ども・子育て】
・登校中に見守ってくれる人たちがいる。
・児童手当や医療費の無償化など行政サービスはとてもいいと思う。
・子育てをする環境はすごく良いと思う。自分が子供のころは近所の人も親代わりみたいな存在だった。朝の挨拶はもちろん、帰ってきたら「おかえり」と言ってくれたり、面倒を色々見てくれる。自分が子育てするなら絶対高畠だと思う。

・高畠町はシングルマザーやその子供たちを孤立させないような活動をたくさんして下さって、本当にありがたい。
・今の子どもたちは昔と違って外で遊ばない＆遊べない＆遊び方を知らない。（不審者・熊の出没・遊具の不足・駄菓子屋の減少・地域の公民館の施錠等々、現実問題がある。）
・今の子どもたちに遊び方を教えてくれる人が必要だと思う。
・子どもの遊ぶ場所があり、人との触れ合いがある元気な町になってほしい。
・公園がほしい。子ども（幼少～小学生）が遊べる場所が少ない。道の駅ばかりでなく、宿泊・温泉・食事の相乗効果を伴う場所づくりを希望する。
・見守り隊と矛盾するが、最近は過保護ともいえるほどに子供に干渉していると感じる。
・学童保育は、祖父母がいると利用できないと聞いた。利用したい人が利用できるようになればと思う。
・若いお母さんが働きやすい病児施設とか保育施設とかフリースクールとかあるといい。置サポが高畠も管轄だなんて知らなかった。高畠だけであってもいいんじゃないか。
・子育てと仕事の両立に対する支援（学童保育所、保育園、幼稚園の預け時間の延長、毎週土曜の開所など）をお願いしたい。

【働く場】
・子育てが終わってからの仕事復帰とか、地域おこし協力隊とかの外から来た人の任期が終わってからの仕事とか、役場がバックアップをしてくれるといい。
・若い人を定住させるには、働く場所をつくることが必要。福島からの避難者もここに働き口があれば住みたいと言っている人もいる。
・若い人を大事にしないとまちはなくなる。若い人が戻ってくるためには、働く場が必要。牛や馬ではないから働く場だけでもだめ。大事にされること必要。
・町内でできるアルバイトがない。社会経験ができない。アルバイトすらないところに仕事があるのか？と思ってしまう。農家の仕事などでもバイトがしたい。
・高畠で女性の働き口とそれを専門に斡旋してくれるところがあるといい。
・就職の選択肢が少ない。・若者が働ける企業職場が少ない。
・若者が魅力を感じる仕事がないと思っている。若者が仕事を知る場がない。
・後継者が育たない。
・つらい、儲からないと自分の仕事に誇りを持っている人が少ない。

【観光・イベント】
・町には、年間を通してお祭りが多い。外の人がきてくれるきっかけにできると思う。
・町の特色を生かしたお祭りやイベントがあり、活気がある。
・祭りに歴史がある。
・駅舎にも見どころがある。（温泉、売店、レストラン等）
・浜田ひろすけ記念館があり、童話の里というイメージ。
・祭りが小さくなっている。規模とか盛り上がりとか。
・石切り場などは、観光客が訪れても入口がわかりにくい。八幡様、旧高畠駅なども、訪れてよいところだが、観光客はワイナリーなどしか知らない。
・蛭沢、石切り場など、点を線でつなぐＰＲ必要。
・①休めるところ　②観光地　③食事できるところ　３つそろえて物語をつくる！
・ガイドブックに載っていない本気の魅せ方を考える。来た人を魅了したい。
・県外・町外から集客できる場所が少ないと思う。
・現状として、イベント等の参加者、観客が減っている。子どもを出場者にすると、その親・祖父母等が来てくれるので来場者が増える。音楽祭等もそういった方向に持っていきたい。合わせて、色んな仕事の魅力を発信したい。

【商工業】
・商工会のあんちゃん方が元気でいい。
・商店街や企業の若手も頑張っている。
・個人商店は経営が厳しい。６次産業の推進として補助金を出しているが、作ったものの売り場が無いから成功しない。売るノウハウがないからダメ。ネット通販の世の中で、「ここでしか食べられない」というような付加価値をつけていかないと売れない。
・高畠町を食品工業の町にすればいいと思う。スーパーの誘致よりも、企業の誘致をすべき。一中跡地に企業誘致できないか。施設老朽化で立替を考えているような企業を誘致し、その際、土地は無償貸与すべき。有償で貸しているのは高畠町ぐらいで、ほかの自治体は無償で貸している。
・大型店が進出しているために小さな商店がたくさん閉店している。時代の流れとして仕方がないのだと言っているが、それでいいのか。

【農業】
・農業の６次産業化が上手。
・農業は過保護だといわれるが、コストはかかっていて、設備も新しくしていかないといけない。補助金のハードルが厳しい。書類を書くのが上手なだけ、作物作るのが上手なだけではだめ。アンテナを高くしていたい。
・農家数の減少により、水路、堀の維持が難しくなっている。

【店・買い物】
・遊ぶとなると町外、県外となってしまい、高畠を出ないといけなくなる。
・小売店が廃業し街並みも閑散としてきた。大型店舗の影響もあるだろうが、高齢者は購入する上で交通手段をかけてまで買い物に行くようなこともない。17:30 や 18:00 で閉店では客も行かなくなる。地域に愛される商法も考えられれば営業も可能ではないか。
・高齢化で買い物に困る時代。地元商店であれば商品を届けてもらうことも可能。地元商店を利用することが大切と考える。
・駅周辺ににぎやかさがない。二井宿にはお店がない。
・自分の趣味にあった専門的なものや欲しいものが近くにない。
・飲食店やゲームセンターなどがほしいと思ったりするが、それでは高畠町が高畠町じゃなくなってしまうと思う。

【食文化】
・食文化の豊かな土地柄。イートインなどの地場産農産物・加工品を入手できる機会を広げてほしい。

【食べ物】
・特産といえる食材が多くある。自慢できる農産物が多くある。
・食べ物がおいしい。ラ・フランス、米、わらび、松茸、シャインマスカット。
・日本全国的に発信できるものがたくさんあると思う。
・つや姫を独自ブランディングしている。
・デラウェアは世界一美味しい。
・食品加工企業が全国的に有名
・とれたての野菜とか手作りの伝統料理が食べられる。

【学校・教育】

・学校の雰囲気が良い。特に食育。
・学校給食が美味しい。
・高畠高校があり地域を知る活動にも積極的（ボランティアなど）
・学校が心配。特別支援についての対応が遅れていると感じる。
・勉強できる場所が欲しい。

【移住・定住】
・若者の流出が激しい。地域を知らずに出ていくのと、知ってから出ていくのは違う。
・住んでいると見えないところがある。住んでみないとわからないこともある。他市町でアパート暮らしをしていて高畠に家を建てる人もいるので、そういう人を増やしていくといいのではないか。→試しに住んでみるプランなど
・若いお嫁さんに来てほしい！独身男性が出て行っている。

【空き家】
・空き家の利活用も含めて安く住宅を建築したり、住宅を借りたりできるような政策をしてほしい。

【居場所】
・年齢問わずみんなが利用できる憩いの場が欲しい。
・コミュニティに集まりにくい。
・歩いていけるような所に集まれる場所、飲食店があると、若い人が交流する場になる。

【生活インフラ】
・地区内も含め、交通網が数多く整備され、通過交通量が増加している。統合中学校関連事業にのせて面的な整備をどんどん図っていってほしい。
・使いやすい道に信号がほしい。事故が起きてないからみんなそんなに関心がないのかもしれない。
・高畠にスマートインターチェンジができたらすごく良い。

【地域・人のつながり】
・近所や地域とのつながりが高畠の魅力。
・地域のなかに、障がい児の母の会のようなものがあればいいと思う。
・人とのかかわりはなくてもいいという人が増えている。
・昔ながらの世代を超えた付き合いが弱くなっている。
・地域のまとめ役がいる。
・人とつながる機会が少ない。
・男の人は消防団などの集まりがあるが、女の人はそういうのがない・・・。

【地域活動】
・部落の付き合い、退職してやっと自由だとおもったのに、「こだに色々さんなねんなが…」という人もいる。
・団体を育てるのが下手。役場の人が入ってるのばっかりだし・・・。何かやりたいと思っている人が町と喋ってうまく育てる方法を考えてほしい。
・情報交換の場がほしい。

【若者】
・若手が頑張っている。熱い若者が結構いる。

・外での遊び方を知らない。
・高校生や若者が活躍できる場が少ない。（高校生が企画から参加するイベントがない）
・親世代の考え方の変化。（子に親の仕事を継がせない）
・中高生は住んでいるだけで暮らしていない。地域のことをもっと知る必要がある。

【人柄】
・高畠の魅力は、「人」が良いこと。みんな心優しい。
・人の温かさ。人柄。本当に高畠の皆さんはあたたかい。この町に移り住む人が多数いることに実感する。
・周りの人たちが気さくに声をかけ合う環境。
・色々なことにチャレンジする人が多い。
・よその人に対して歓迎ムードがある。
・おすそ分け精神がすごい。
・一緒にやろうとしてくれる人、問題解決したいと思ってくれる人が多い。
・他のところより新しいことを受け入れやすい雰囲気がある。

【まちづくり】
・地域の人は、地域の宝。素晴らしい人は地域にいっぱいいる。そういう人たちが出てきてもらえれば良い。
・イベントのように断片的なものではなく、普段から同じ空間に居られる環境づくり。
・田舎であることを最大限に利用し、「地味で目立つ」ことを考えると良い。
・「何もない」といって出て行った同年代の人もいるが、そんなことないんだよと言いたい。
・人が集まりいろいろなコミュニティの中から、もっともっと賑やかさが生まれてくれば良いだろうと期待している。
・現状維持をした上で高畠らしさを活かした町になっていてほしい。
・子供達が高畠に残りたいと思える町であってほしい。
・行政に求めるだけでなく、住みよい町にするため町民一人ひとりが考え、意識を高め、幸せを感じられるような町になっていてほしい。
・子供は東京に行きたい、田舎には何もない、つまらないというし、僕も思っていたけど、商業施設つくるとかではなくて…自分の町に誇りを持てればいいなあと思う。

【立地・交通】
・新幹線の停車駅となったことで、首都圏までの時間的距離が短縮し、観光面でも人が来町してくれるようになった。
・公共交通がほどよく整備されている。
・レトロな路面電車を走らせてほしい。
・昔より交通関係が不便になったと感じる。昔はバス、山交高畠線があった。二井宿や和田の奥など、どんどん買い物が不便になっており、運転免許の無い高齢者世帯など、デマンドを頼んだりしないとやっていけなくなっているのではないか？
・友達が来たとき交通の便が悪く、案内しづらい。バスの運行、せめて１日１本、各観光名所とか道の駅まで巡回すれば観光客も増える。
・高齢化社会が進む中、住む人にとっての町づくり、町外からの人を満足させるためのまちづくりが必要。この点でスマートインターは必要不可欠。
・高速道路が通っているのに、そこに昇るすべが無いことで、米沢や南陽にいかないといけない。

【人口減少】
・少子化問題。少子化が進んでどう対処するのか？
・今後人口は減っていく。それに伴う税収減。町が成り立たない。
・町外流出を減らせる対策を期待したい。（子育て、働くための準備）
・早いうちから都会・田舎で働くメリット・デメリットが伝えられる機会と環境づくり。
・育成会に子どもがいなくなって、休止している。いも煮会をしたり、母親仲間の交流の場だった…。
・商工業者も農業も同様に後継者の問題には皆悩んでいる。

【行政】
・高畠に住んで幸せだ。福利厚生充実していると思う。近隣と全然違う。行政サービスがいいという声がある。
・役場の人も困りごとに親身になってくれると感じる。他自治体ではそういう対応してくれない。他を経験しないと見えない部分だと思う。
・他の市町村のまねや後追いはしなくともよいと思う。あくまでも高畠らしさ、高畠のオリジナリティーを大事に発揮することが、結果トップランナーになるものと思う。

【町のイメージ】
・よく「高畠っていいね」と言われる。文化遺跡などもあって、地域ごと色んなことをやっている。
・時間の流れがゆるやか。
・特化して絶対コレっていうものはない。さくらんぼなら東根市みたいな強いもの。
・田舎特有の閉鎖的なところがある。

【その他】
・なんとなくみんな町が好き。
・６地区それぞれに特色がある。
・高畠では当たり前のことが外からは魅力、価値があるものがたくさんある。
・今は自分も子どもたちも時間がない。自分が若い頃は、都会から田舎に戻ると時間がゆっくり感じて、じっとしていられなかった。
・暮らしの知恵が伝わらない。
・情報発信に対する熱量が足りない（生産者・販売者・行政の知識とモチベーション）
・地域の人とキャリアを考える機会がない。
・やりたい仕事について学べる場所がない。町の良いものを知る機会が少ない。
・街中と郡部の差がありすぎる。

4　策定協力者名簿　（敬称略、順不同）

【未来まちづくりカフェ参加者】

渡部忠弘・竹田広幸・加藤義博・木村賢治・渡部彩香・高橋初子・佐々木えい子・
大塚瀬菜・我妻恵多・皆川裕希・市川将也・高橋竣・新藤瞭・斉藤理乃・大塚栄一・
清澤穣・佐藤純子・井田信子・四柳徹也・加藤咲穂・山口真希子・竹田典子・木村豊光・
成川岱志・杉村賢太郎・渡部真由・鈴木啓之・齋藤駿丞・豊嶋莉乃・森谷秀子・
武田世紀子・古川澄子・渡部咲恵・今井優希・鈴木淳・戸田聡・原田卓磨・布施健太・
石岡葵・堀内恵・髙橋誠・髙橋龍斗・阿部保春・勝又美侑・加瀬早織

【未来づくりトークセッション協力者】

佐藤正洋・神保一雄・冨樫とみよ・照井憲一・平正一・長谷川正・我妻由美子・我妻恵子・武田浩司・髙橋傑成・大野美千代・久保田菜ツ美・佐藤綾香・本田千鶴子・中川有加・小林和香子・佐藤　尚利・今野　直樹・齋藤　政考・嶋倉　直樹

【町民ヒアリング協力者】

舟山徹・齋藤ゆき・前田礼子・近野マキ・安藤悦弘・二瓶直樹・四柳徹也・木村豊光・
平誠・菅野征子・木村さよ子・・森谷秀子・木村智子・後藤大輔・渡部宗雄・布施美穂・
佐藤祖心・佐藤順子・成川岱志・土屋遥・八木千佳子・伊藤寿彦・佐藤美香・渡部彩香・
山口真希子・木村賢治・髙橋初子・庄司薫・井場広洋・加藤義博・小黒耕作・金子和利・
高橋貞夫・佐藤竣介・大塚直幸・竹田恵一・鈴木恵・髙橋正人・清澤穣・塗茉莉子・
梅津暁・我妻恵子・加藤桃花・田中茜・安部敬子・髙橋千穂・渡部真由
高畠高校生徒会役員３名・高畠中学校生徒会役員４名

【政策審議会】

会長	宮原博通　（有限会社地域環境デザイン研究所長）
会長職務代理	福島悟　（高畠物産協議会長）
委員	大場三枝　（教育委員会委員）
	矢田涼一　（高畠町金融団山形銀行支店長）
	西方茂太／齋藤浩（平成 31 年 1 月～）（高畠青年会議所理事長）
	吉田智之　（商工会青年部部長）
	庄司薫　（COCO イズミヤ代表）
	加地由紀子（主婦）
	川合秀智　（不動産業代表取締役）
	佐藤尚利　（農事組合法人代表）
	長智香子　（自営業）
	大野美千代（農業）

【総合計画策定アドバイザー】

出野紀子　（株式会社 studio-Ｌ／高畠町地方創生推進アドバイザー）
外薗明博　（高畠町地域活力創生プロデューサー）

【高畠町総合計画　策定部会】

＜第一章＞
新藤重徳・小林貴宏・高橋弘樹・佐藤あすか・八島加奈

＜第二章＞
村上奈美子・小林幸代・鈴木剛・鈴木雄紀・高橋秀輔

＜第三章＞
柴田賢治・庄司知広・小梁川めぐみ・安達敏幸・嶋倉武志・佐藤夏美

＜第四章＞
佐藤忠博・新藤真紀・山内善克・我妻美樹・梅津政義・中川和紀・

＜第五章＞
今井幸隆・落合明子・菊地広憲・根津恭子・黒田こずえ

＜情報分析部会＞
二宮弘明・髙橋裕平

＜デザイン編集部会＞
黒田こずえ・加藤咲穂
大浦博子・岡崎桜

【高畠町総合計画　策定協力職員】

市川直樹・小梁川守・外山英晴・我妻美樹・二宮弘明・加藤幸栄・加藤祐美・榎本奈生・島津敏・鈴木祐介・二宮栄市・竹田昌太・柴田境子・早坂美樹・佐々木育子・加藤咲穂・田村亜紀・相良優樹・髙橋裕平・菅原友輝

【事務局】

金子昭一・八巻裕一・遠藤千夏子・鈴木洋之・南波幸子・岸哲也・菅原友輝・二関永志・栗田英徳・平井ゆき・

第６次　高畠町総合計画

ゆきかう「またね∞」　あふれる「うふふ∞」

発　行　2019 年 3 月
発行者　山形県高畠町
〒992-0392
山形県東置賜郡高畠町大字高畠４３６番地
電話 0238-52-1112（企画財政課）